



毎日、暑い日が続いていますね。子どもたちは、鬼ごっこや水遊び、シャボン玉など、戸外でいろいろな遊びを楽しんだり、お店屋さんごっこやお家ごっこなど、先生や友達と一緒に遊ぶことをうれしく感じたりして、自分のしたい遊びを楽しむようになってきました。

【水遊びたのしいね】

水遊びが始まり、登園するとすぐに「今日もプール入るよね?」「今日は魚で遊ぶんだよ」とうれしそうに言いながら準備をしています。Aちゃんが「ばしゃばしゃってするとあわあわになるんだよ」と言いながらプールの中で足踏みをして遊んでいました。それを見たBちゃんが「本当だ!もっとあわあわにしちゃおう!」と二人で一緒に足踏みをして遊んでいると、それを見ていた周りの子たちも次々と仲間に加わってあわあわのプールを作って遊んでいました。一方他のプールでは、透明なバケツに魚をたくさん入れて「ここは僕の水族館だよ」とうれしそうにしている子や、「今からイルカショーが始まるから見に来てね」と、イルカや魚をプールの中で泳がせて遊んでいる子などもあります。他にも「イルカ攻撃!」「これがかかると冷え冷えになって先生は動けなくなるぞ」と言いながらイルカの水鉄砲やひしゃくなどで先生に水をかけて遊ぶなど、色々な遊び方で楽しんでいます。水遊びの後の片付けも頑張っていて使い終わったプールの水を外に出すとき「大きくなったからできちゃうもん」「みんなでがんばるんだー!」と遊びながら片付けもしています。

これからも自分のしている遊びを教師に受け止めてもらう喜びを感じながら、水の感触の心地よさや解放感を味わっていきけるようにしていきたいです。

【素敵なお花屋さん作りたいな】

最近の子どもたちは、空き箱で恐竜や動物を作ってそれを動かして遊んだり、剣や銃を作って戦いごっこをしたりなど、「こんなのほしいな」と思ったものを自分なりに形にしてそれを使って遊ぶことを楽しんでいます。その中の一つにお花屋さんごっこがあります。Aちゃんがかわいい花束を作っている姿を見たBちゃんが「それ、お花屋さんに売ってるやつだ。私も欲しいな」と言うとAちゃんが「じゃあ一緒に作ろ」と一緒に花束を作り始めました。たくさん出来上がった花束を見て二人はお花屋さんを始めることにしました。「お花屋さんって看板がいるよね」「かわいい飾りがあったほうがいいんじゃない」など話をしながら作り進めていきました。先生は子どもたちの話を聞いて「飾りってどんな紙がいいかな?」と子どもたちのイメージを聞きながら一緒にお花屋さんを作っていました。作りながら「看板がいるのに、字が分からないよ」と二人の手がとまりました。「字じゃなくても、お花の絵を描いたらお客さんも分かりやすいんじゃないかな」と先生が助け船を出すと、「それいいじゃん!」「お花の絵をたくさん描こう」と、遊びがまた始まりました。出来上がった素敵なお花屋さんにお客さんと呼んだり、周りで見っていた友達も店員役や店で飼っている猫役をしたりと、それぞれにお店屋さんごっこを楽しんでいました。

今後も、子どもたちのしたいことを教師が受けとめ、それに応じた素材や遊具を用意して、欲しいものを自分なりに作る楽しさ、作ったもので遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきたいと考えています。

【ナスができたよ!】

夏野菜の苗を植えて、大きくなることを楽しみにしていた子どもたち。植えるときに何を植えるか秘密にしておき、「何ができるかな?」と先生が言うと、「いちごだよ。だっていちご食べたいもん」と食べたいものを答える子や、葉っぱや花を観察して「これは紫色の葉っぱだからブルーベリーだよ」と言う子、今までの経験から「これはトマトだよ。だって前に見たことあるもん」と言う子など、予想は様々でした。「何ができるのかなあ」「早く大きくなってね」と毎日楽しみにしながら、たくさん水やりをして「大きくなあれ」と魔法をかけ続けました。だんだんと大きくなり、実がなりはじめると「先生!ナスとトマトだったよ!もう食べれそうだよ」とうれしそうに先生に言いに来てくれました。みんなでナスを収穫して観察してみると「なんだかつるつるしてる」「帽子のところはとげとげでちょっと痛い」と楽しそうに気付いたことを言葉にしていました。その後、収穫したナスを業務士の杉原さんに調理してもらって、美味しそうに食べたり、「僕が作ったからおいしいんだよね」と自分たちで育てたナスだから食べてみようとしたりする姿が見られました。また、「おいしいから小さい組にもあげたいな」「先生たちのお部屋にも今度お届けしたいね」とうれしそうに話す声も聞こえました。今後もナスや他にも育てているミニトマトの成長の変化を楽しんだり、収穫を楽しみに思いながら大切に育てたりできるようにしていきます。